

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 28 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	7	2	土	10:00	14:00	五味ヶ谷市民の森	8
活動名称	地域の恵み 竹林の竹でそうめん流し体験					報告者：小沼	

<主な活動内容>

イベント活動の場合の参加者数 (62) 人

- 梅雨の時期なので雨が心配されましたが、曇天で気温と湿度が高い中でのイベントとなりました。
- 参加者も多く、初夏のイベントとしては定着化していると思われます。
- 主な活動内容としては、竹林の説明、樋となる竹材の伐採、樋の脚づくり、竹の半割、節取り、お椀づくり、薬味入れづくり、樋の運搬、そうめん流しセットづくり、そーめん茹で上げ等、各役割分担でスムーズな運営がなされました。
- 従来のそうめん流しでは、参加者が参加する内容は、こども達による節取りとお椀づくり、樋の運搬でしたが、今回は、竹の半割やそうめん流しセットづくり等についても若いお父さんの参加も多かったので積極的に参加・お手伝いをお願いしました。そうした方が参加者の体験・実感が得られるので望ましいだろうと思われます。(お父さんの出番を作ってあげることが大切)
- そーめん流しには、ミニトマト、みかん、ゼリー等も流し、夏の暑い中だったので水が流れる涼しさを感じながら皆さんお腹いっぱい食べて、満足していました。
- そーめん流しセットは、東市民センターのホール東の外にあります。今後、あゆみ、児童館、カローレひまわりが利用する予定がありますが、それ以外では何時でも貸出できるので希望があれば申込できます。なお、ホースセットは杉下支え合いより借り出しできます。
- 来年度以降に申し送りする事項
 - そーめん量： 13キロのそーめんを茹でましたが、一人あたりは62名+スタッフ15名で約170グラムとなります。結果的にそーめんは余ったので当初予定どおり、一人あたりの購入量は150グラム程度が良さそうです。
 - 樋の長さ： 今回は参加者が多かったので一つの樋の長さを4尺×2の計8メートルを2セット作った。(通常は3尺)
 - 樋の脚： 3脚作るが、各脚の長さは、120センチ、100センチ、80センチで穴を開ける場所は上部から20センチ、下部から10センチの場所とした。
 - バケツ対応： そーめん流しではバケツの水が直ぐに一杯になってしまうので、漏斗のようなもので受けて、ホースで排水路に流す方式ができないか検討する。(流れてきたそーめんは網で受ける。)

<里山参加会員>

小澤邦、吉牟田、松井、吉井、牛島、柏木、小澤弘、小沼

<経費>

杉下支え合い協議会の主催なので我がクラブからの支出はありません。

<活動写真>



(樋とお椀づくり)



(出来上がった樋の運搬)



(皆でそめんを)